

3.3.1 人材育成

民間企業から博士課程の学生および受託研究員を受け入れた実用化研究を成し遂げ、これらの人材は企業において事業化を推進するリーダーとして活躍することが期待される。また、横断型異分野連携人材育成プログラムにおいては、異分野の著名な研究者のもとに派遣された博士課程学生が、連携先の最先端技術を習得して自立した研究を推進する等、大きな成果をあげることができた。また、国際化に伴い平成18年には教員(准教授)が1名海外留学し、平成19年には2名の若手教員(助教)が海外へ留学した。これを契機に海外研究機関との国際連携研究を推進し、そこへ学生の参画も積極的に進める計画である。それとともに、海外の著名な研究者を交えたワークショップ等を通じて、国際性豊かな研究者の育成を図る。

一方、特に民間企業において即戦力となる博士課程学生の輩出に注力し、さらに、研究プロジェクトに学生を参画させる実践教育を推進する。